

# まちづくりと連携した 地域交通ネットワークの形成

2023年2月10日(金) 13:30-16:55

参加費  
無料

会場：兵庫県立但馬長寿の郷 郷ホール（養父市国木594-10）

交通体系の存続は、住民の日常生活、地域の経済活動や社会・文化活動の維持にとって不可欠です。本シンポジウムでは、人口減が進行する但馬地区において、地域の持続可能な発展の軸となる交通体系のあり方について参加者の皆さんとともに考えます。

## プログラム

総合司会 竹本七海（関西大学大学院博士課程）

開会の辞 安部 誠治（関西大学社会安全学部教授）

来賓挨拶 登日 幸治（兵庫県但馬県民局長）

## 第1部

### 基調講演

#### 「医療・福祉・まちづくりと交通」

千葉 義幸（ちば内科・脳神経内科クリニック院長）

### 公共交通と地域交通ネットワーク形成の課題

#### 「播但線・山陰線の現状と今後の課題」

尾崎 大史（西日本旅客鉄道株式会社・兵庫支社地域共生課長）

#### 「但馬地域におけるバスの役割と将来的な課題」

村上 宣人（全但バス株式会社社長）

#### 「ローカル地域における移動手段の確保策」

酒井 大斗（国土交通省近畿運輸局・交通政策部交通企画課長）

## 第2部

### 関西大学社会安全学部・安部研究室からの分析と提案

#### 「但馬地区における住民・観光客の交通意識」

香河 英樹（関西大学社会安全学部・安部研究室）

#### 「自治体による公共交通支援策の財源に関する提案」

國澤 樹（関西大学社会安全学部・安部研究室）

#### 「他地域のMaasの現状と但馬地区への示唆」

大櫃 頌生（関西大学社会安全学部・安部研究室）

### 講演

#### 「但馬地区の持続的な発展のために」

安部 誠治（関西大学社会安全学部教授）

## 質疑応答

司会 小坂 祐司（全但バス株式会社バス事業部長）

閉会の辞 桐山 徹郎（全但バス株式会社会長）

<問い合わせ先>

関西大学・安部研究室 TEL (072)684-4176（午後のみ）

全但バス株式会社 TEL (079)662-2133

主催  
後援

関西大学社会安全学部  
国土交通省近畿運輸局

兵庫県但馬県民局

西日本旅客鉄道株式会社兵庫支社

兵庫県バス協会

# 参加申込書

まちづくりと連携した地域交通ネットワークの形成  
シンポジウム事務局 御中

<送付先>

Mail:unyu@zentanbus.co.jp/FAX 079-662-4180

開催日 **2023年2月10日(金)** 13:30-16:55

所属	役職	お名前

<問い合わせ先>

まちづくりと連携した地域交通ネットワークの形成 シンポジウム事務局  
(全但バス株式会社 バス事業部 内)

TEL (079)662-2133